

昨年度の最終回である第3回では、防災の専門家である井上赫郎さん（小平市地区まちづくり審議会会長／まちづくりコンサルタント）をお招きし事例紹介やアドバイスをいただきました。

専門家からのアドバイス！

井上先生からのアドバイスをご紹介します。

みんなで考えることが大切！引き続き、頑張りましょう！



<建物の耐震化について>

- 古い建物は地震時に倒壊するかもしれません。耐震診断や耐震改修（※）を行いましょう。

<避難所について>

- 公園は防災拠点になり得ます。マンホールトイレなどどんなものがあると良いかを事前に話し合っておきましょう。

<災害時の備えについて>

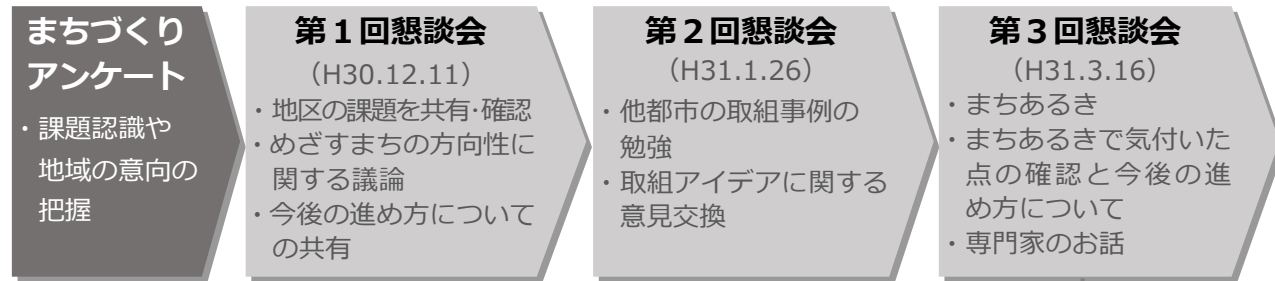
- 消火栓や消火器の位置や使い方を覚えておくために、事前に訓練するのが良いでしょう。
- 世田谷区では、中学生が高齢者の避難を手伝うという訓練を行いました。「子どもたちと一緒に取り組む」という視点も大事です。
- 集会所や喫茶店、銭湯などの資源はまちの防災資産にもなります。活用を考えると大切です。

※市役所から、耐震診断や耐震改修の補助を受けることができます！対象となる住宅や金額など、詳細については、都市計画課までお問い合わせください！

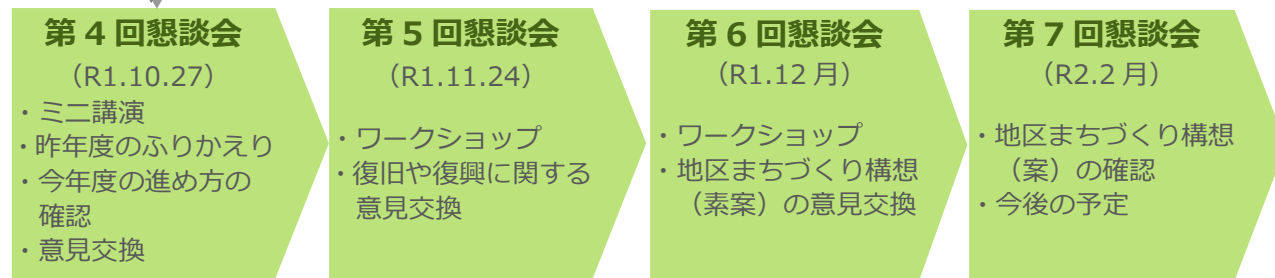
まちづくり地域懇談会 今年度の取組について（予定）

昨年度は、アンケート調査を実施するとともに、全3回のまちづくり地域懇談会を開催しました。主に以下のような議論を行ってきました。

【2018年度】



【2019年度】



※2019年度の内容は変更する可能性があります。

《問合せ先》 事務局（小平市 都市開発部 都市計画課 計画担当）

電話 042-346-9554(直通) / FAX 042-346-9513 / e-mail toshikeikaku@city.kodaira.lg.jp

第4回 及び 第5回 まちづくり地域懇談会を開催します！

昨年度に引き続き、小川西町三丁目周辺地区のまちづくりについて考える地域懇談会を開催いたします。今年度は、昨年度の成果をベースに「防災」に焦点をあてた地区まちづくり構想（案）を策定したいと考えています。また、講師をお招きし防災に関する知識習得の機会や、ゲーム形式のグループワークを通じて自らが主体となって防災について考える取組等を考えております。

先般、関東を襲った台風被害を見ても分かるように、災害はどなたにとっても他人事ではなく、自分事として捉え、常日頃から対策を考えることが重要です。是非、この機会に皆さまも自分たちの地域の防災について一緒に考えていきましょう。

第4回 令和元年10月27日（日）
10:00～12:00

※申込不要です。

プログラム

- ミニ講演
- 昨年度のふりかえり
- 今年度の進め方の確認
- 意見交換

会場

小川西町中宿地域センター
第一・第二集会室
(小川西町 2-30-1)
(都営住宅 1階)



ミニ講演

自然災害から自他を守る
～減災の心得と
災害時のコミュニケーション～

講師 三浦 まゆみ さん
気象予報士
気象防災アドバイザー
フリーキャスター



経済団体の秘書・書籍編集、新聞社での事業立ち上げ・オンライン新聞記事編集を経て、放送・気象業界に転身。全国各地及びカナダにてテレビ・ラジオ番組に出演、新規CS気象情報チャンネルのプロデュースなどに携わる。民間から官庁まで、多様な業界職種を経験し、「世の中の意識と気持ちがわかる」しゃべり手として、司会・ナレーター（日英）・ライターとしても活動する。

第5回 令和元年11月24日（日）

（時間は次号のニュース・レターでお知らせします。）

- ワークショップ
グループワーク（ゲーム形式など）を通じて、災害からの復旧や復興についてみなさんと一緒に考えたいと思います。（予定）



【会場】
小川西町中宿地域センター
第一・第二集会室

★第4回と同じです★



イメージ写真
（出典：内閣府ホームページ）

どなたでもご参加いただけます。
お気軽にどうぞ！



1 地域の課題（小川西町三丁目周辺地区）

①災害時の危険性

- ・古い木造住宅が多く、火災時に燃え広がる恐れがあります。
- ・細い街路が多く、震災時に避難や救助活動が困難になる恐れがあります。



調査：東京都の調査

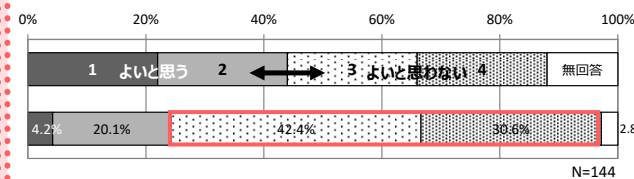
- ・「防災都市づくり推進計画」（東京都）で、木造住宅密集地域に抽出されています。

<位置図>



DATA：まちづくりアンケート

- ・「火災や地震時における道路・建物の安全性」について、7割以上の住民が良いと思わないと回答しています。



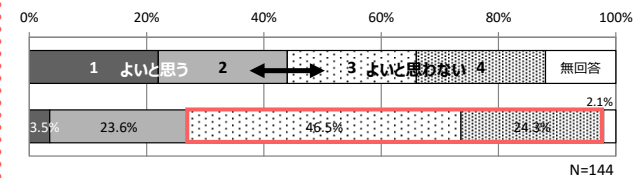
「火災や地震時における道路・建物の安全性」に関する評価

②交流の希薄化

- ・高齢化率が市平均 22.4%に対し、33.6%と高くなっています。
- ・また、自治会のないエリアもあり、地域交流や地域活動があまり活発ではありません。
- ・そのため、将来、世代間の交流や近所づきあい等がさらに希薄になることが不安視されます。

DATA：まちづくりアンケート

- ・「地域活動や地域交流等の活発さ」について、7割近い住民が良いと思わないと回答しています。



「地域活動や地域交流等の活発さ」に関する評価

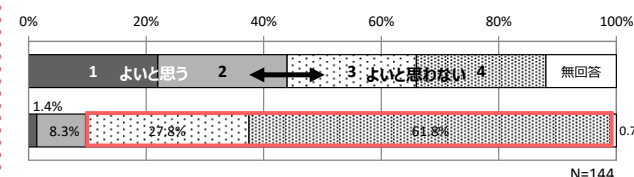
③まちのにぎわい

- ・当地区に隣接する小川駅西口地区において予定される市街地再開発事業を契機のひとつとした、まちのにぎわい創出が課題であると考えられます。



DATA：まちづくりアンケート

- ・「商店街や住宅街のにぎわい」について、9割以上の住民が良いと思わないと回答しています。



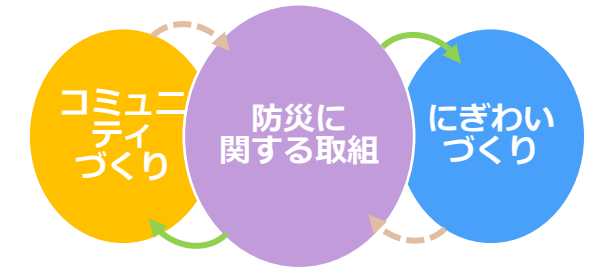
「商店街や住宅街のにぎわい」に関する評価

2 取組の方向性と目標

- ・みなさんの関心が最も高く、緊急性が高いことから、「防災に関する取組」を優先的に取り組みます。
- ・また、防災活動などを通じて、「コミュニティづくり」を進めます。
- ・さらに、商店街関係者などの関心が高まった時点で、「にぎわいづくり」の取組を進めます。

《当面の地域の目標》

“安全・安心の暮らしやすいまち”をめざします



「防災に関する取組」を核に他の地域課題の解決にも展開していきます

3 「防災に関する取組」の進め方と視点

1) 進め方

- ・「防災に関する取組」は、①まちの安全・安心について関心をもつ→②みんなで取り組む→③出来ることから始めるといった3段階で進めていきます。



2) 防災まちあるきの開催

- ・第1段階の取組として、防災まちあるきを開催しました。



3) 取組の視点とアイデア

- ・防災まちあるきの結果を踏まえ、今後考えるべきことについて意見交換を行いました。
- ・今後の取組にあたっての視点を整理しました。また、取組のアイデアを一部紹介します。

取組の視点とアイデア

	取組の視点	アイデア
1	燃えにくく、倒れにくい建物にすることが必要	・建替え時のルールを検討する
2	安全に避難や消火・救助活動ができる環境が必要	・避難ルートを考える ・ブロック塀などの点検
3	安心できる避難先が必要	・住民で公園等を管理し、備蓄倉庫や避難時に必要な設備を置けるようにする
4	災害時に助け合える関係づくりが必要	・緊急時の行動等に関する計画づくり ・新しい居住者や高齢者を巻き込んだ防災活動 ・地域で集まれる場所づくり ・様々な施設（コンビニなど）との連携ができる体制づくり